

2025 年 9 月 14 日 (日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい} 久宝教会

第 68 巻第 22 号 (通算 3459 号)

教会設立 1959 年 6 月 14 日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺 6 丁目 7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さくされている^{ひと}人を
^{たいせつ}大切にする^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

けいろう ひ れいはい
敬老の日礼拝

^{せいれいこうりんせつ}聖霊降臨節 ^{だい}第15主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

^{ぜんそう}前奏 (黙^{もく} ^{とう}祷) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね}招きの^{ことば}詞 ^きヨブ記 ^{しょう}12章 12-13節

^{さんびか}賛美歌 21-522番「キリストにはかえられません」(©JASRAC)

^{せいし}聖書 ^{れつおうき}列王記 ^{じょう}上 ^{しょう}3章 1-15節

みんなで祈り

^{さんびか}賛美歌 21-484番「主われを愛す」(文語訳) (©教団讃美歌委員会)

メッセージ「^{おい}老いた者には知恵がある」 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{さんびか}賛美歌 21-461番「みめぐみゆたけき」(©教団讃美歌委員会)

^{しゅ}主の^{いの}祈り 21-93-5A (1880年訳)

^{ささげもの}献げ物 (*)

^は派 ^{けん}遣 21-91番「^{ばん}神の恵み^{かみ}ゆたかに^{めぐ}受け」(1節のみ) (©JASRAC)

^{しゅくふく}祝福 ^{うしだ}牛田 ^{ただし}匡 ^{ぼくし}牧師

^{こうそう}後奏 ^{ばん}アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

^{ほうこ}報告 (4頁^{ページ}をご参照^{さんしょう}ください)

《^{せき}席にお^{すわ}座りになったままで礼拝にご参加^{さんか}ください》

*^{うけつけ}受付に^{けんきんばこ}献金箱がございます。

「^{ささげもの}献げ物 (献金)」はご用意のある方のみ、お^{ささ}献げください。

¹² 老いた者には知恵があり／長寿の者には英知があるというが

¹³ 知恵と力は神と共にあり／思慮と英知も神のものである。

みんなでお祈り

牧師 年をとることは、

みんな 神さまからあたえられた「おしごと」。

牧師 そのつとめを大切にして、長い人生を歩まれてきた人たちは、

みんな 神さまからの祝福。

牧師 喜びいっぱいときも、つらく悲しいときも、

みんな 神さまはいつも一緒でした。

牧師 受けるよりは与えること、持つことより手放すことの尊さを

みんな 神さまは、教えてくださった。

牧師 失敗や病気、弱さの中に、

みんな 深い意味と、神さまの愛が隠されています。

牧師 年をとることは、

みんな 神さまがくださった素晴らしい「いのち」。

みんな 私たちの人生をとおして、

神さま、あなたを深く知らせてください。

（参照：『祈りのコンチェルト』日本キリスト教団出版局 68－69 頁）

聖書 列王記 上

3 章 1－15 節（聖書協会共同訳）

¹ ソロモンはエジプトの王ファラオと姻戚関係を結び、ファラオの娘をめとった。ソロモンは彼女をダビデの町に迎え入れ、宮殿、主の神殿、エルサレムを囲む城壁の建築が終わるまで、そこに住まわせた。² その頃はまだ、主の名のための神殿が建てられていなかったもので、民は高き所でいけにえを^{ささ}げていた。³ ソロモンは主を愛し、父ダビデの^{おきて}掟に従って歩んだ。ただし、彼は、高き所でいけにえを献げ、香をたいていた。

⁴ 王はいけにえを献げるためにギブオンへと行った。そこには最も重要な高き所があったからである。ソロモンはその祭壇の上で、一千頭の焼き尽くすいけにえを献げた。⁵ その夜ギブオンで、主は夢の中でソロモンに現れた。「願い事があれば、言いなさい。かなえてあげよう」と神は言われた。⁶ ソロモンは答えた。「あなたは、あなたの^{しもべ}僕である父ダビデに、大いなる慈しみを示されました。彼が真実と正義と正直な心をもって御前を歩んだからです。あなたはこの大いなる慈しみを守り

続け、今日、その座に着く子を与えられました。⁷わが神、主よ。この度、あなたは父ダビデに代わって、この僕^{しもべ}を王とされました。しかし、私は未熟な若者で、^a どのように振る舞えばよいのか分かりません。⁸僕はあなたが^{しもべ}お選びになった民の中の一人ですが、民は多く、その多さのゆえに数えることも調べることもできません。⁹どうか、この僕^{しもべ}に聞き分ける心を与え、あなたの民を治め、善と悪をわきまえることができるようにしてください。そうでなければ、誰がこの数多くのあなたの民を治めることができるでしょうか。」

¹⁰ ソロモンが願ったことは、主の目に^{かな}適う良いことであつた。¹¹ 神は言われた。「あなたが願ったのは、自分のために長寿を求めることでもなく、富を求めることでもなく、また敵の命を求めることでもなかった。あなたが願ったのは、訴えを聞き分ける^{ふんべつ}分別であつた。¹² それゆえ、あなたの言うとおりに、知恵に満ちた^{そうめい}聡明な心をあなたに与える。あなたのような者は、前にはいなかったし、この後にも出ないであろう。¹³ 私はまた、あなたが求めなかったもの、富も栄誉も与えよう。生涯にわたり、王の中であなたに並び立つような者は一人もいない。¹⁴ 父ダビデが歩んだように、あなたが私の^{おきて}掟と^{いまし}戒めを守り、私の道を歩むなら、私はあなたに長寿を与えよう。」

¹⁵ ソロモンが目を覚ましてみると、それは夢であつた。ソロモンはエルサレムに戻り、主の契約の箱の前に立ち、焼き尽くすいけにえと会食のいけにえを献げ、すべての家臣のために宴会を開いた。
(脚注 a: 直訳「出入りのしかたも」)

主の祈り 21-93-5A (1880 年訳)

天にまします我らの父よ、

ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。

み国を来^{くに}らせたまえ。

みこころの天^{てん}になるごとく、

地^ちにもなさせたまえ。

我^{われ}らの日用^{にちよう}の糧^{かて}を、今日^{きょう}も与^{あた}えたまえ。

我^{われ}らに罪^{つみ}をおかす者^{もの}を 我^{われ}らがゆるすごとく、

我^{われ}らの罪^{つみ}をもゆるしたまえ。

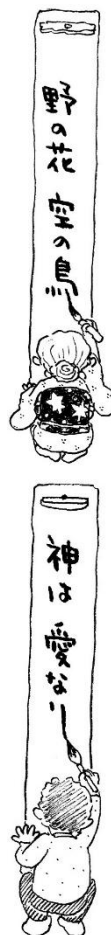
我^{われ}らをこころみにあわせず、

悪^{あく}より救^{すく}い出^{いだ}したまえ。

国^{くに}とちからと栄^{さか}えとは

限^{かぎ}りなくなんじのものなればなり。

アーメン



《先週のメッセージより》2025年9月7日

「苦しみ呻く世界の中で」

牛田匡牧師

聖書 ローマの信徒への手紙 8章 18-25 節

地球環境は危機に瀕していると言われ続けて、早くも半世紀以上が経っていますが、今なおその危機的状況は続いているどころか、ますます地球の温暖化、気候変動は深刻化し、自然災害も激甚化しています。そのような世界、時代の中であって、今、聖書の言葉は、私たちに何を伝えているのでしょうか。今回の言葉は「ローマの信徒への手紙」の中から、「被造物」即ち神様によって造られた物、草も木も花も石も山も川も空も雲も海も魚も、全てが救われる、滅びから解放されるということが述べられている箇所です。今、私たち被造物は全ていずれ死んでいく存在、滅びを免れない存在であるけれども、将来的に皆、救われて、滅びから解放されていくと言われています。なぜなら、そのように死ぬべき存在であるのは、誰かが何かをしたという何かしらの行動の結果ではなく、全てを造られた神様自身が最初からそのようにデザインしたからだ、と説明されています。だからこそ、そのグランドデザイナーによって全てが新しく作り変えられる希望があるというわけです。そしてもう一つ、今まで確かに続いている呻きや苦しみも、何かの罰ではなく、これから来る栄光や救いに至るための「産みの苦しみ」なのだとも言われています。聖書には繰り返し、「全ては絶望で終わりではない」ということが述べられています（ローマ5：5）し、イエス様の十字架での死からの引き起こしも、そのことを表わしています。

生きている限り、嬉しいことや楽しいことだけではなく、苦しいことも悲しいことも確かにあります。なぜ今、世界にはこんなにも悲しいことや、辛いことが多いのか、戦争があり、自然災害があり、病気があるのか。その明確な答え、唯一無二の模範解答はありません。もしも、それが「ある」と断言するのはカルトあり、ファシズムです。それらの課題に対して諦めることなく、絶望することなく、問い続け、考え続け、取り組み続けることが、人間に与えられている自由であり、責任であり、使命なのではないかと思います。気候変動や戦争、災害や病気など、今も世界は様々な苦難に呻いています。しかし、それでも私たちは生きることを投げ出さず、将来を諦めません。なぜなら全てを造られた命の神が今もこれからも共におられ、滅びから解放されると約束されているからです。全てのグランドデザイナーである神様は、全ての命が贖われ、解放される天の国の実現に向けて、私たちを今日も招いてくださいます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025 年 9 月 7 日

礼拝出席 大人 5 人 献金 4,200 円 中継視聴者数 16 回 感謝
礼拝後に 8・9 月期の教会を考える会をいたしました。



◎次週 2025 年 9 月 21 日 (日)

招きの詞 詩編 147 編 1-3 節

聖書 コリントの信徒への手紙 I 1 章 10-17 節

メッセージ「対立と一致を越えて」牛田匡牧師

賛美歌 21-162 番 (©塩田)、「風と歌う」(©JASRAC)、聖公会 2-2 番 (©聖公会)

礼拝後に、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行います。どなたでもご参加ください。献品も歓迎いたします。

◎お知らせ

- ・本日の「敬老の日礼拝」は柏原市にある社会福祉法人日本コイノニア福祉会の 2 つの特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」と「第二好意の庭」の入居者の皆様と、ZOOM オンラインミーティングを用いて、一緒に礼拝をいたしました。感謝
- ・「敬老の日」として、久宝教会から柏原市にある社会福祉法人日本コイノニア福祉会の特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」と「第二好意の庭」、「旭ヶ丘好意の庭デイサービスセンター」に、お花をプレゼントいたしました。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ (全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分を YouTube でご覧いただくことも可能です。
- ・9 月 23 日 (火・秋分の日) 10 時 45 分～15 時にかけて、日本福音ルーテル大阪教会にて、西教区女性会全体修養会「祈りと音楽に包まれて」が開催されます。講師はリラ・プレカリア (祈りのたて琴) の奉仕活動をされているキャロル・サック先生です。昼食は締め切られましたので、持参で直接ご参加ください。参加費 500 円。
- ・9 月 24 日 (水) 13 時～17 時 45 分にかけて、兵庫県神戸市にある「母の家ベテル」(阪急御影駅下車徒歩 7 分) にて、全国キリスト教教育主事の会研修会公開講演「礼拝の力」「日本聖公会と聖餐式」が開催されます。講師は元同志社大学教授・越川弘英先生と日本聖公会川口基督教会・柳時京司祭です。参加費は 800 円 (オンライン参加は者は無料)。問い合わせ・申し込みは noyuri@aol.com まで。
- ・9 月 23 日 (火・秋分の日) 14 時～16 時半にかけて、東梅田教会にて、大阪教区社会委員会主催の緊急集会「ガザの今、これから」が開催されます。講師は東京経済大学教授・早尾貴紀さんです。中東情勢は激化の一途をたどっています。イスラエルのガザ攻撃は、明らかな戦争犯罪であるにもかかわらず、留まることがありません。ガザの今とこれからを知りましょう。

◎次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
9/21	牛田匡牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援 14時～河内地区壮年会 (@八尾教会)
9/28	教会堂での礼拝は休会です (Youtube配信のみ行います)	
10/5	牛田匡牧師	(世界聖餐日) ユーカリスト 教会を考える会
10/12	牛田匡牧師	(神学校日)

緊急開催

大阪教区社会委員会主催

9月23日

(火・秋分の日)

14:00～16:30

会場：日本基督教団 東梅田教会

講師：早尾貴紀さん

(東京経済大学教授)

プロフィール
東北大学文学部卒業/東北大学大学院経済学研究科博士課程修了。
博士 (経済学)。ヘブライ大学及びハイファ大学客員研究員などを
経て現在、東京経済大学教授。

主な著作
『いつの日かガザが私たちを打ち負かすだろう——早尾貴紀対談
集』(青土社、2025年)、『イスラエルについて知っておきたい30の
こと』(平凡社、2025年)、『パレスチナ、イスラエル、そして日本
のわたしたち』(朝倉社、2025年) ほか。

中東情勢が激化の一途をたどっています。
イスラエルのガザ攻撃は、明らかな戦争犯罪
にもかかわらず、留まることがありません。
ガザの現状をきちんと読み解き、今後どのよ
うなことが起こり得るのかを知る機会として
緊急集会を開催いたします。

問い合わせ：日本基督教団 大阪教区社会委員会 ucci.osaka.shakai@gmail.com

ガザの今、
これから